

信用保証トピックス (令和7年10月)

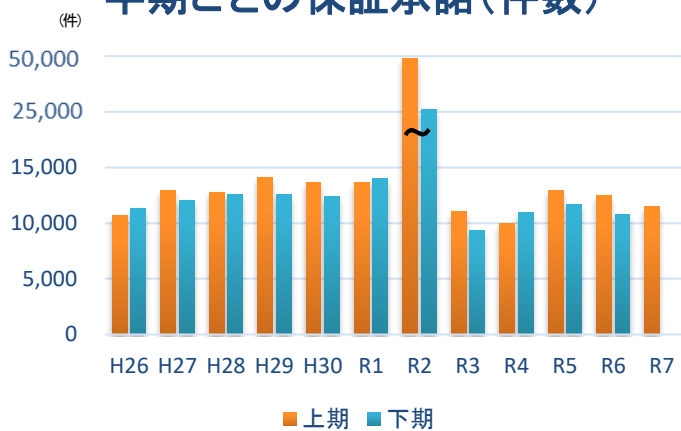
令和7年度上半期の状況について

■ 保証の状況

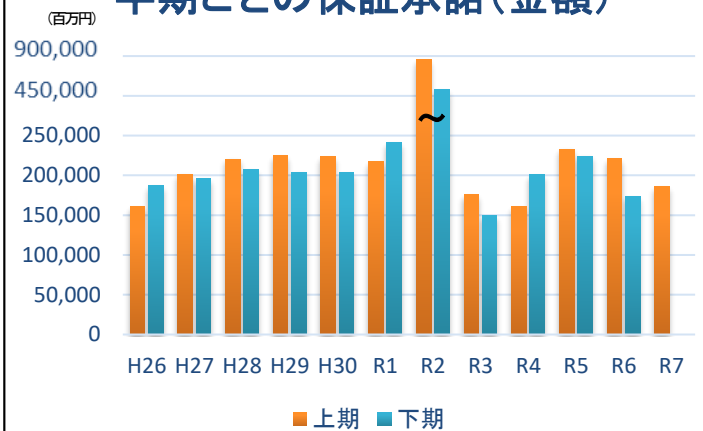
① 保証承諾の状況

- 上半期の保証承諾は、11,449件（前年同期比92.0%）、1,861億円（同84.2%）となりました。
- 昨年度上半期は、国による保証料補助（一部）が受けられる「伴走支援型特別保証制度」（令和6年6月末申込受付をもって当協会の取扱終了）の「駆け込み申込」の増加があり、前年同期比では減少となりました。

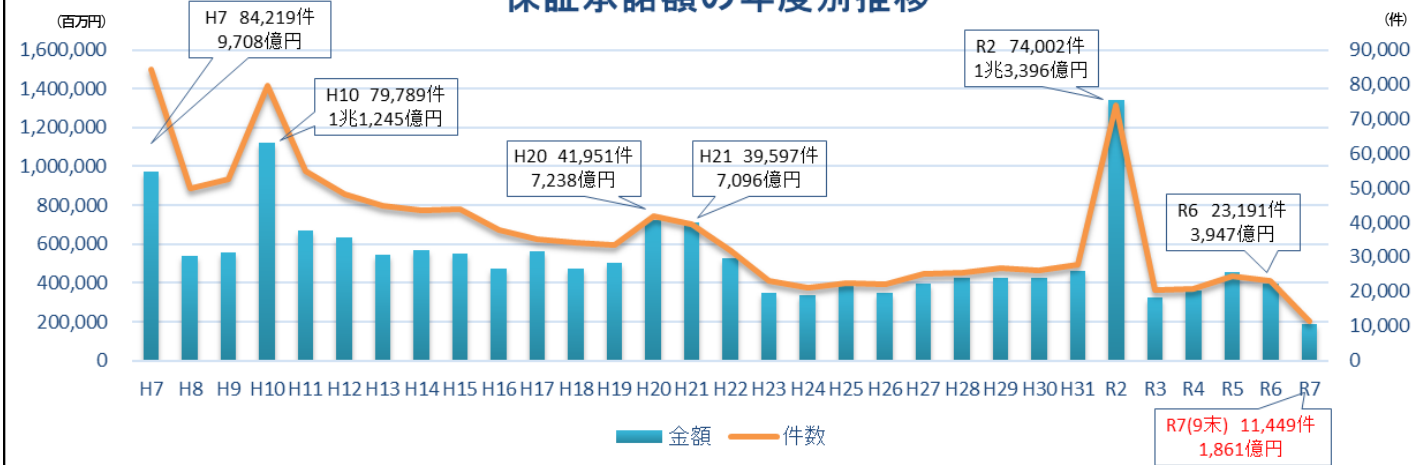
半期ごとの保証承諾(件数)



半期ごとの保証承諾(金額)

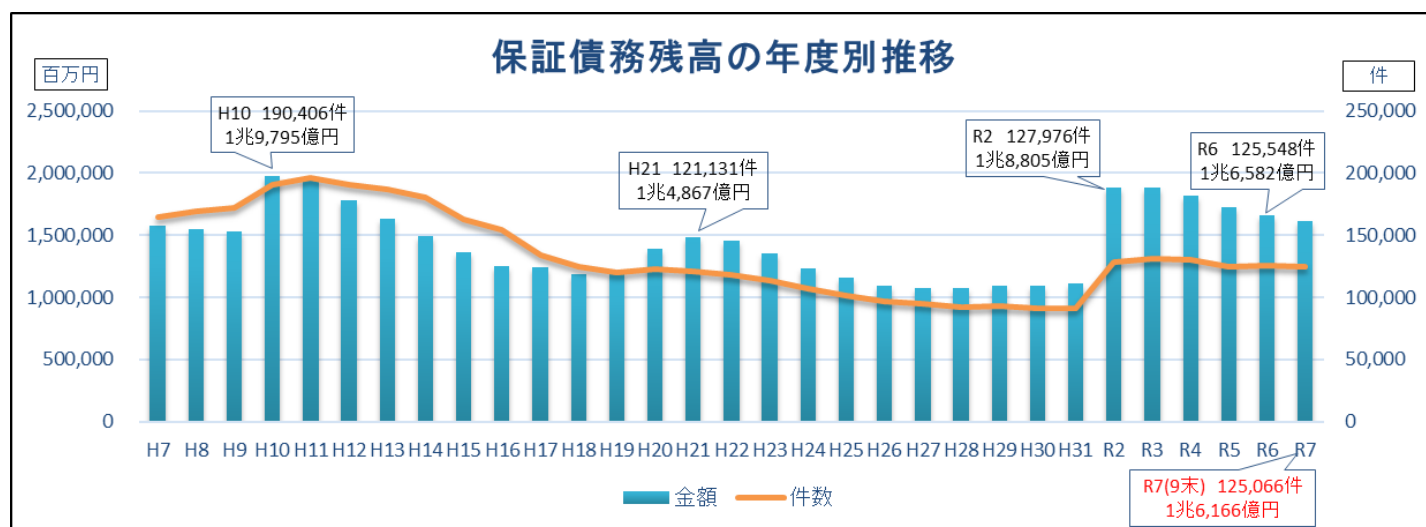


保証承諾額の年度別推移



② 保証債務残高の状況

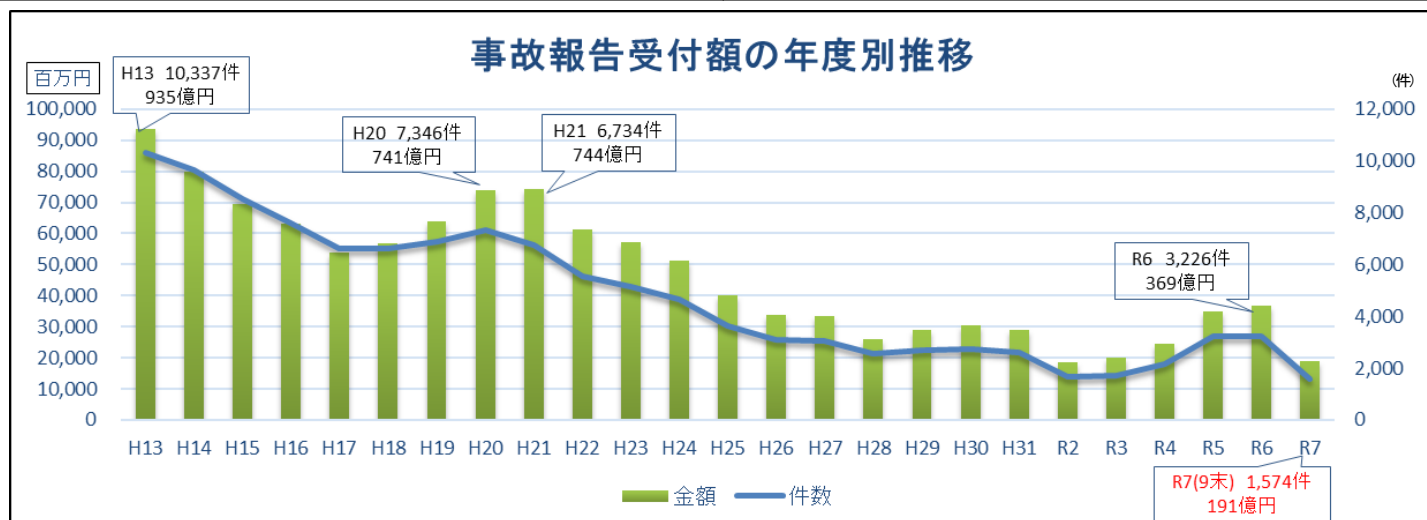
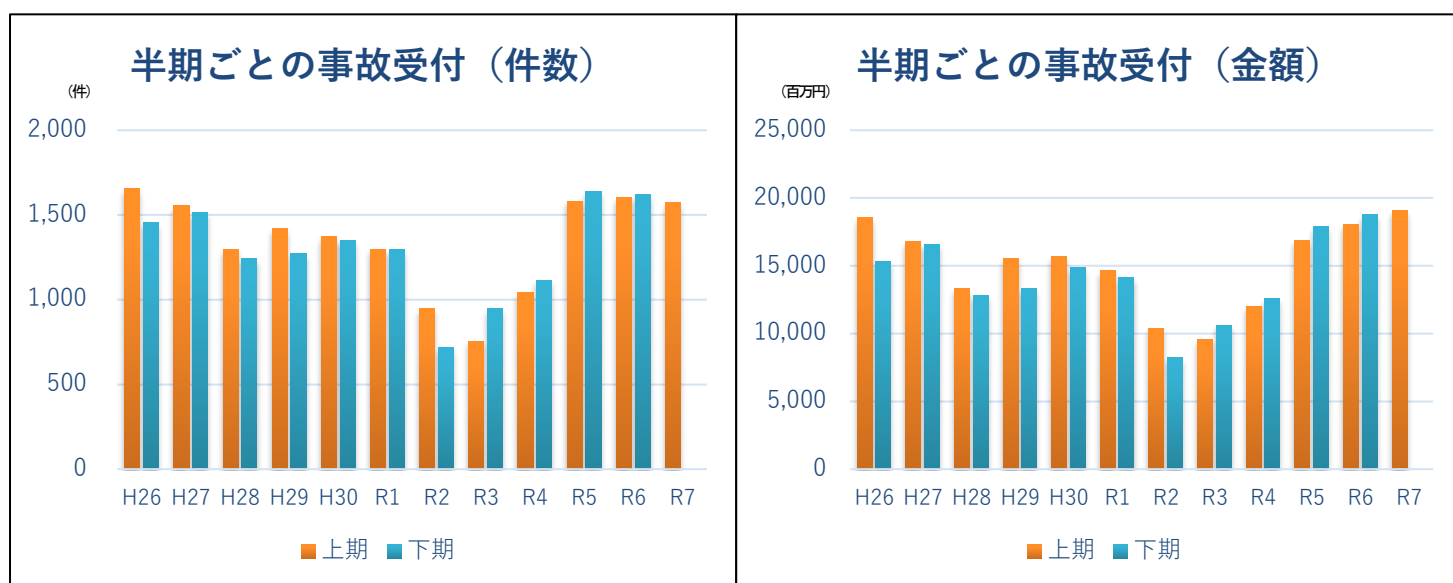
- ▶ ゼロゼロ融資の返済本格化により償還が増加していることなどから、保証債務残高は引き続き減少傾向で推移しました（上半期末残高：125,066 件（前年同期比 100.5%）、1 兆 6,166 億円（同 95.4%））。



■ 事故・代位弁済の状況

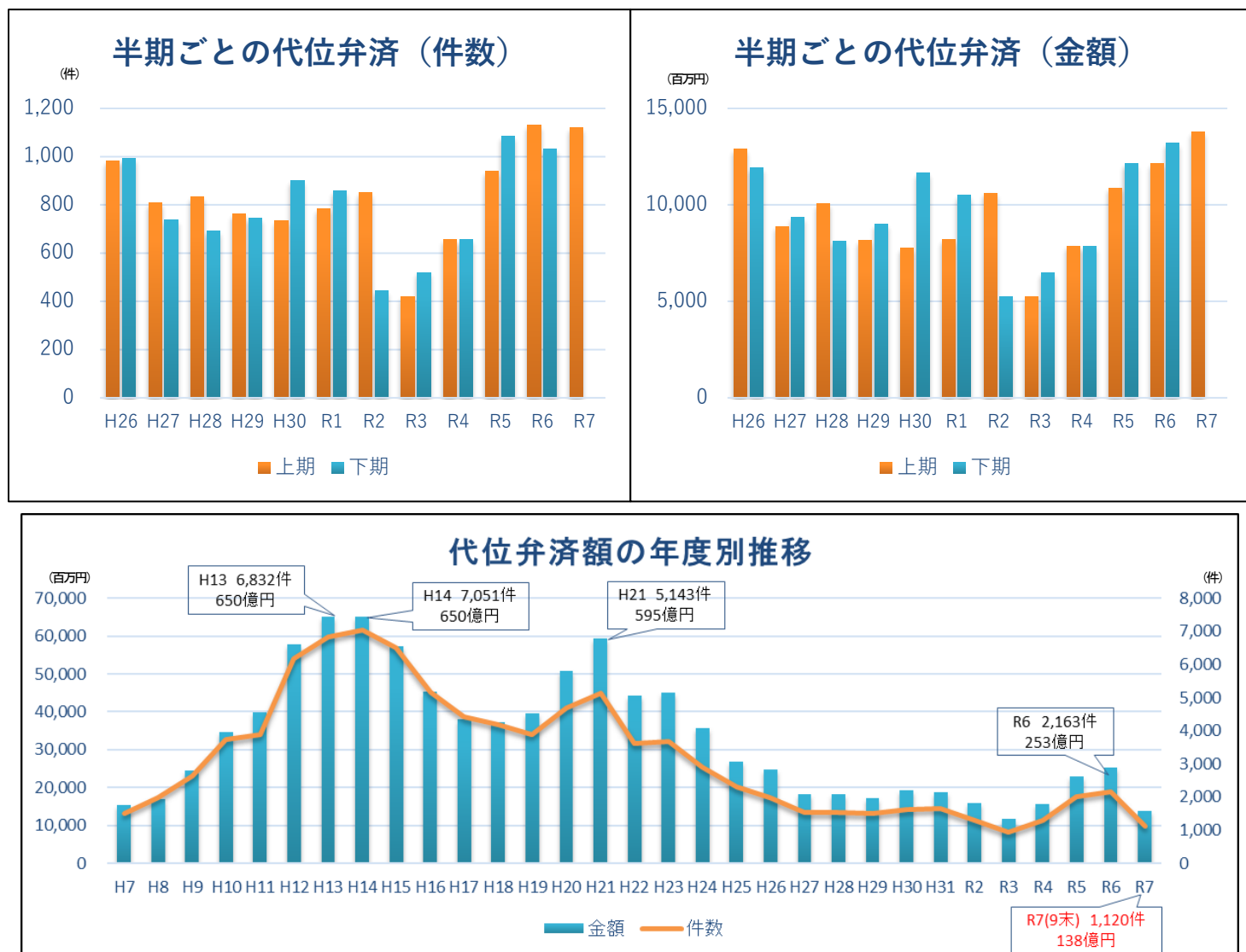
① 事故報告の受付状況

- ▶ ゼロゼロ融資等による過剰債務や物価高、人手不足の深刻化、金利の上昇等を背景として依然増加傾向が続いており、上半期の事故報告受付金額は、191 億円（前年同期比 105.6%）となりました。



② 代位弁済の状況

- 事故報告受付金額の増加に伴い、上半期の代位弁済金額は、138 億円（前年同期比 113.4%）となりました。
- 事業者にとって厳しい経営環境が続いている中、米国関税措置の影響等も懸念され、今後も動向を注視していく必要があると考えています。



■ 今後の見通しと当協会の取組

経済環境は、神戸空港の国際チャーター便就航、大阪・関西万博の開催等が追い風となり、インバウンド需要が旺盛である一方、物価高、人手不足の深刻化、金利の上昇、米国関税措置等事業者を取り巻く環境は不透明感が増しており、事故報告・代位弁済は増加傾向で推移していく見込みです。

このような中、当協会では、資金繰り支援にとどまらない、一歩先を見据えた早期の経営支援に取り組むため、金融機関や関係機関と緊密に連携し、事業者に寄り添いながら、以下の項目を重点的に実施し、積極的に事業者支援に取り組めます。

- 保証時の実地調査と保証後のモニタリングによる「対話型支援」を推進し、事業の継続、発展に向けた事業者の取組を後押しします。
- 協会が主体となった「フォローアップ型」経営支援を推進し、事業者の経営課題や状況の変化の兆候の把握と課題の解決提案に努めます。



兵庫県信用保証協会
Tel078-393-3922（総務企画部 企画調整課）